

河北町道の駅河北改修基本設計公募型プロポーザル  
選定結果報告書

令和3年9月

河北町道の駅河北改修基本設計選定委員会

## 1 選定結果

優先交渉者 : Dugout+KADA 設計共同体

次点交渉者 : Uo. A・細海拓也一級建築士事務所設計共同体

## 2 審査委員会

役 職	氏 名	所 属 等
委 員 長	河内 耕治	河北町副町長
副委員長	清野 一晴	河北町道の駅河北検討委員会委員
委 員	月本 久美子	山形工業技術センター主任専門研究員
委 員	逸見 朋愛	河北町道の駅河北検討委員会委員
委 員	日下部 昌樹	有限会社 酒屋源八 代表取締役
委 員	内藤 幸太郎	一般社団法人 河北町観光協会副会長
委 員	宇野 勝	河北町まちづくり推進課長
委 員	佐藤 晃一	河北町商工観光課長

## 3 選定の経過

令和3年6月15日(火)	プロポーザルの公告
6月24日(木)	質問書の受付期限
6月22日(火)	質問書に対する回答
7月1日(木)	参加表明書等の提出期限
7月15日(木)	プロポーザル再公募の公告
8月2日(月)	質問書の受付期限
8月3日(火)	質問書に対する回答
8月13日(金)	参加表明書等の提出期限
8月31日(火)	提案書の提出期限
9月3日(金)	提案書等のみによる審査(一次審査)
9月7日(火)	提案書等のみによる審査(一次審査)結果通知

9月29日(水)	二次審査 (プレゼンテーション及びヒアリング)
10月4日(月)	二次審査結果通知及び公表

## 5 提案書等のみによる審査(一次審査)

10者から提出のあった「設計担当者実績」、「業務実施方針調書」、「特定のテーマに対する提案」「類似業務等実績」について、書類のみによる審査を行い、公正かつ慎重に評価を実施し、6者を選定し二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)を行うこととしました。

<特定テーマ>

テーマ1 「道の駅河北の管理運営について(最終報告)を踏まえた、各階ごとの考え方」

テーマ2 「維持管理を含め費用の抑制につながること」

<二次審査を行うこととした事務所名(参加表明提出順)>

- ・ Dugout+KADA 設計共同体
- ・ 一級建築士事務所 平野崇建築設計事務所
- ・ 有限会社 高橋迪設計事務所
- ・ 一級建築士事務所 Tsukamoto Design Office
- ・ 株式会社 SABAORCH
- ・ Uo. A・細海拓也一級建築士事務所設計共同体

## 6 二次審査

6者から提出のあった「設計担当者実績」、「業務実施方針調書」、「特定のテーマに対する提案」「類似業務等実績」について、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、公正かつ慎重に評価を実施し、優先交渉者及び次点交渉者を特定しました。

<特定テーマ>

テーマ1 「道の駅河北の管理運営について(最終報告)を踏まえた、各階ごとの考え方」

テーマ2 「維持管理を含め費用の抑制につながること」

## 7 総 評

本プロポーザルは、令和3年3月に町議会に示した「道の駅河北の管理運営について(最終報告)」を踏まえたうえで、道の駅河北改修基本設計を行うため、専門的知識と豊富な経験を有し、道の駅河北の改修設計を委ねるに相応しい適性を備えた設計者を選定することを目的に実施されました。

提案書等のみによる一次審査については、中立・公平を期すため、提案者の社名等を伏せた形式で配置技術者の資格や過去の業務実績、提出された提案書等の内容について主観的に河北町道の駅河北改修基本設計選定委員長および事務局で評価しました。

二次審査については、中立・公平を期すため、提案者の社名等を伏せた形式でプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、主観的に評価しました。提案いただいた6者全てが道の駅河北の管理運営について（最終報告）を良く理解し、また河北町の歴史や文化を調査したうえで、本プロポーザルに意欲的に取り組んでいただいたことが強く感じられる提案でした。

優先交渉者に選定された「Dugout+KADA 設計共同体」は同種業務の実績もあり、業務実施方針調書では業務実施スケジュール及び実施体制に関しての考え方が高く評価されました。特に町内の事業者や町民とともに持続的な賑わいの循環が起こる仕組みを検討されていて良い、ワークショップも考えられていて現実感があるなど高く評価されました。また、特定テーマに対する提案では、テーマ1「道の駅河北の管理運営について（最終報告）を踏まえた、各階ごとの考え方」において、2階へのワイナリー配置が少し気になるとの意見がありましたが全体的に満足できるデザインであり、紅染めなどの特産品や地域伝統工芸技術品を活用した施設づくりなど非常に優れた提案でした。

次点交渉者に選定された「Uo.A・細海拓也一級建築士事務所設計共同体」は、3階のインナーテラス、ホールの配置についての提案が高く評価されました。また、テーマ2「維持管理を含め費用の抑制につながること」についても高い評価を得ましたが、最優秀者にわずかに及びませんでした。

他の提案者についても、優先交渉者及び次点交渉者を上回る評価には至らなかったものの、各社の経験と本町を調査・理解したうえでのアイデアには素晴らしいものがあり、何よりも本プロポーザルに貴重な時間を費やし、ご提案いただいたことに心より感謝申し上げます。

最後に、優先交渉者の設計事務所には、指定管理者等と連携しながら河北町をさらに理解し、持てる技術を最大に活かしながら、「利用しやすく愛される」「地域活性化に寄与する施設」道の駅河北の設計となることを期待します。

令和3年年10月1日

河北町道の駅河北改修基本設計選定委員会  
委員長 河内 耕 治